

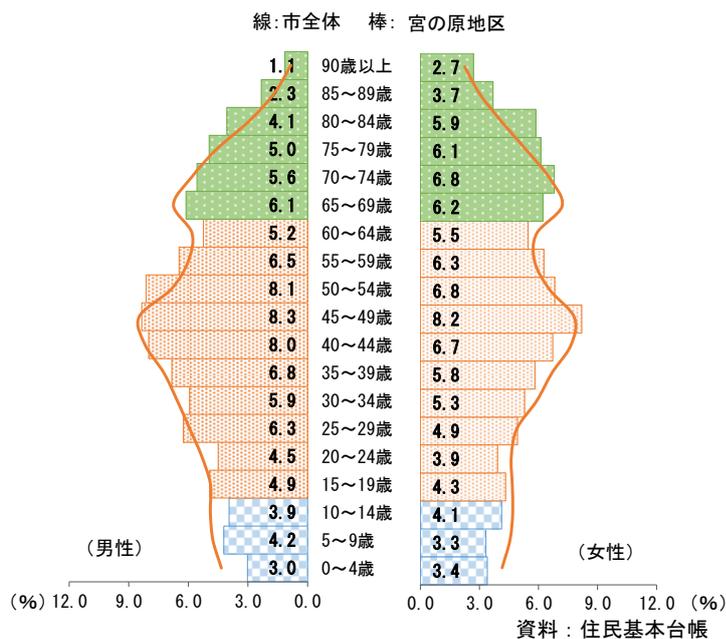
31 宮の原地区

(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・ 総人口：7,629人（男性3,774人，女性3,855人）
 - ・ 世帯数：3,651世帯（1世帯当たり2.09人）
 - ・ 国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：3,199人
 - ・ 高齢化率：27.8%（市全体24.5%）
 - ・ 要介護認定率：17.8%（市全体15.6%）
- 資料：住民基本台帳人口（H30.9.30）等

図Ⅱ-1-1 性別・5歳階級別人口（H30.9.30）



図Ⅱ-1-2 年齢3区分別構成比（H30.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	11.0%	13.6%
15～64歳	61.2%	61.9%
65歳以上	27.8%	24.5%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-3 人口指数（H30.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	63.5	61.6
老年人口指数	45.5	40.1
年少人口指数	18.0	21.5
老年化指数	252.6	186.4

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-4 産業別就業人口構成比（H27）

	地区	市全体
第1次産業	1.1%	2.6%
第2次産業	23.9%	26.8%
第3次産業	75.0%	70.6%

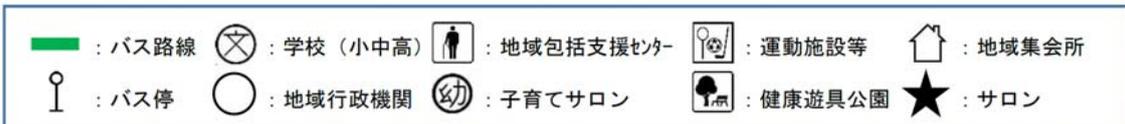
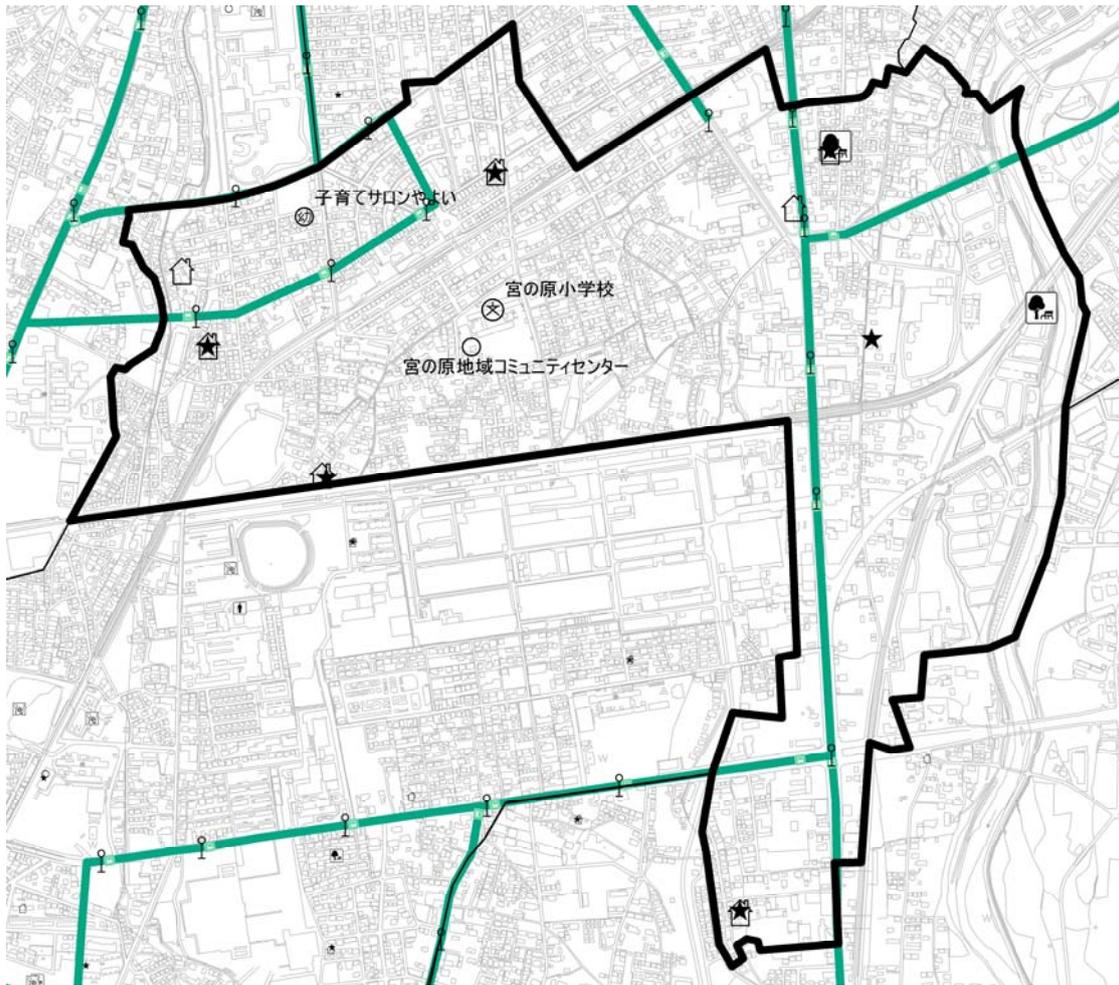
資料：平成27年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	16自治会
	加入世帯数	2,060世帯
安全・安心に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境点検 ・ 夜間避難訓練 ・ 夜間パトロール(防犯会) ・ 宮の原地区防災訓練(昼の部) ・ 地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施 	
スポーツ行事	5月：地区親善ゴルフ大会，歩け歩け大会 7・8月：球技大会 9月：地区学童スポーツ大会（輪投げ） 10月：親善グラウンドゴルフ 10月：体育祭 11月：親善輪投げ大会	
地区イベント	8月：夏まつり 10月：文化祭	

資料：令和元年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



地域資源			
バス路線（本数）	614 本	運動施設等	0 施設
バス停	9 箇所	健康遊具公園	2 箇所
駅	1 駅	地域集会所	7 箇所
学校（小中高）	1 校	ふれあい・いきいきサロン	6 箇所
地域行政機関等	1 施設	スーパー・ドラッグストア	0 店舗
地域包括支援センター	0 施設	病院・診療所	4 施設
子育てサロン	1 施設	歯科診療所	3 施設

【地域の質的狀況】

- ・ 宮の原地区においては、市街化区域であり、西側は住宅が密集しており、東側は国道4号線、119号線が走っており、その周辺は交通量が多く、その沿線は商業施設が多い。
- ・ 東武宇都宮線の南宇都宮駅があり、電車を利用しての通勤や買い物など公共交通機関を利用した利便性は高い。
- ・ 保育園、認定こども園、小学校が周辺にあり、スーパーやドラッグストア等、日常生活には欠かせない施設も多く、子育て世代から高齢者まで住みやすい地域である。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ(平成30年度)等

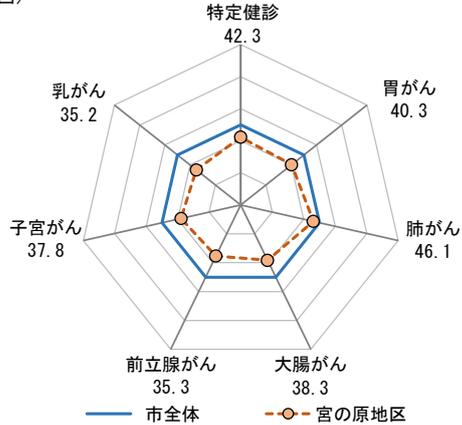
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況 (※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

(※①・③・④は市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

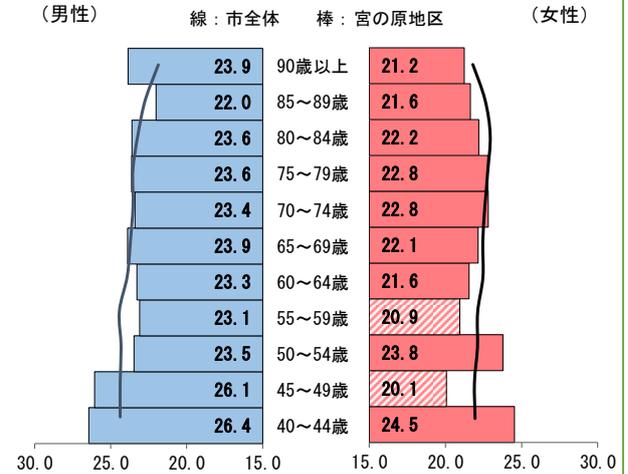
(対象) 特定健診：国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん：40歳以上
前立腺がん：50歳以上(男性のみ)
子宮がん：20歳以上(女性のみ)
乳がん：30歳以上(女性のみ)(40歳以上は2年に1回)



資料：平成29年度KDB等データ

② BMI (年齢層別平均値)

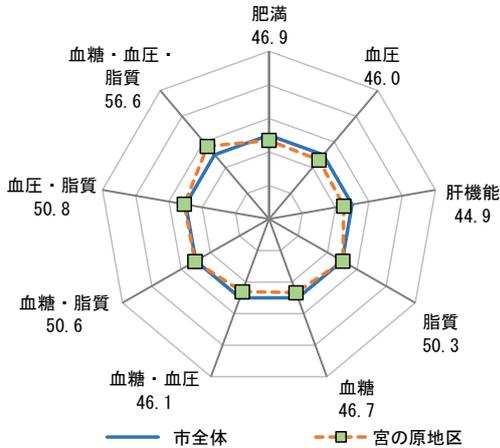
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

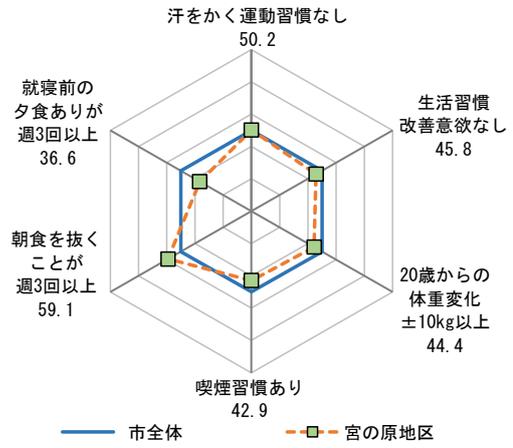
(対象) 国民健康保険被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

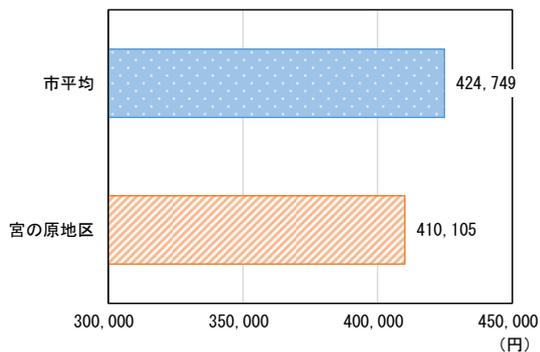


資料：平成29年度KDBデータ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

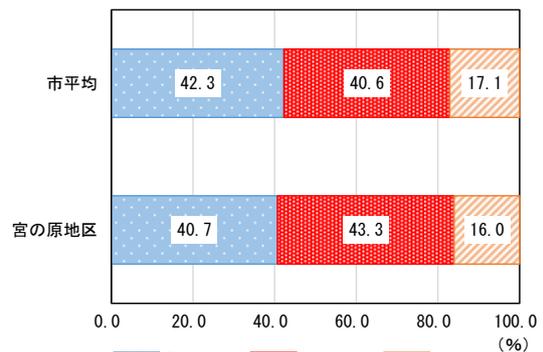
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 医療費の内訳（構成比）

	地区	市全体
糖尿病	4.63% (=)	4.21%
高血圧症	4.44% (=)	4.34%
脂質異常症	3.57% (=)	3.65%
高尿酸血症	0.09% (=)	0.09%
脂肪肝	0.27% (=)	0.38%
動脈硬化症	0.34% (=)	0.33%
脳出血	0.34% (=)	0.40%
脳梗塞	1.79% (=)	1.71%

市全体との差が±0.5%以内：(=)，市全体との差が0.5%より高い(↑)，低い(↓)

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	地区	市全体
狭心症	3.91% (=)	3.64%
心筋梗塞	0.52% (=)	1.02%
がん	8.32% (=)	8.80%
筋・骨格	11.93% (↑)	10.49%
精神	2.46% (=)	2.17%
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.22% (=)	0.25%
慢性腎不全	6.73% (↓)	8.26%

資料：平成29年度KDBデータ

ウ 介護の状況

① 基本情報

(対象) 65歳以上

	地区	(市全体)
1号被保険者数	2,122人	
認定者数	378人	
認定率	17.8%	15.6%

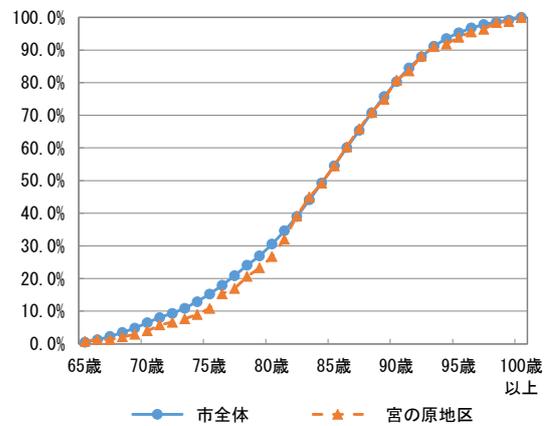
要支援	人数		構成比	
	人数	構成比	市全体	宮の原地区
要支援1	74人	34.4% (↑)	30.9%	
	56人			
要介護	要介護1	74人	34.7% (=)	34.1%
	要介護2	57人		
	要介護3	51人		
	要介護4	33人	31.0% (↓)	35.0%
	要介護5	33人		

市全体との差が±1.0%以内：(=)，市全体との差が1.0%より高い(↑)，低い(↓)

資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

② 年齢分布（累計）

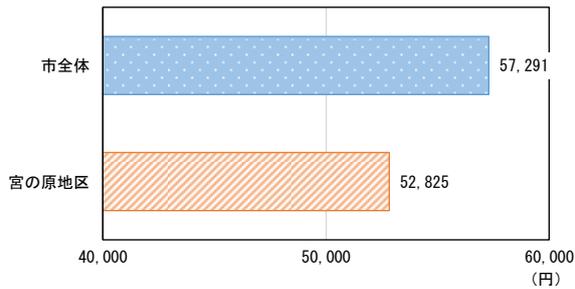
(対象) 65歳以上



資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

③ 1件当たり介護給付月額

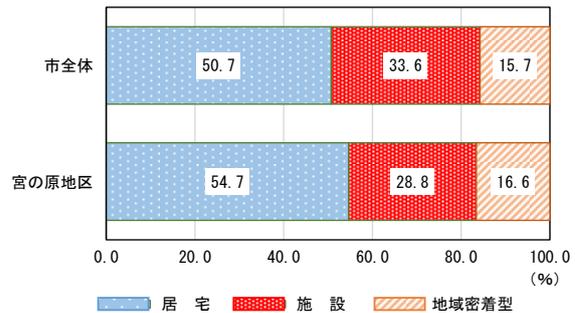
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ サービス別介護給付額の割合

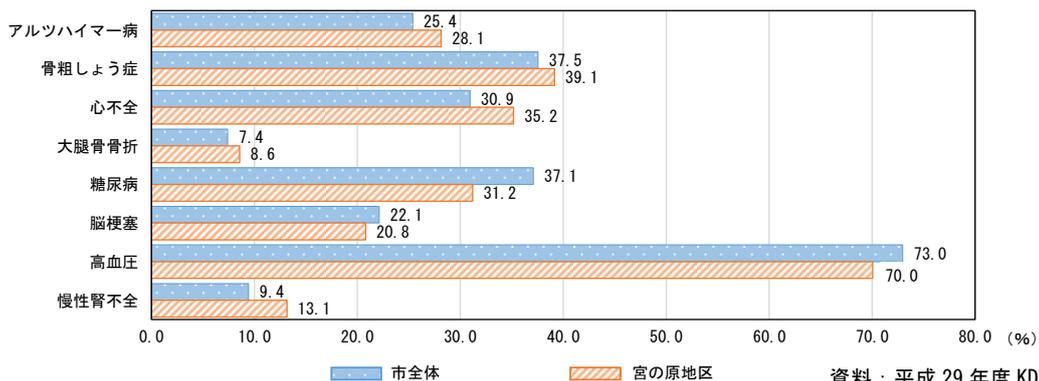
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

⑤ 認定者の有病率

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

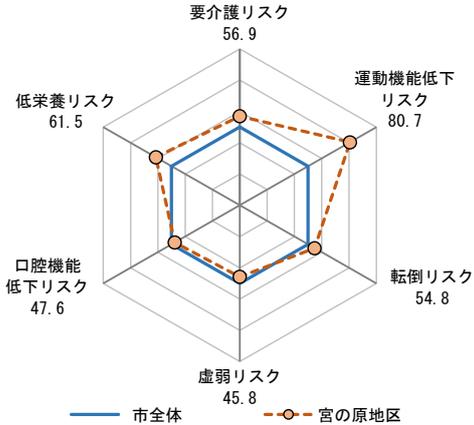


資料：平成29年度KDBデータ

(3) 生活習慣・社会参加

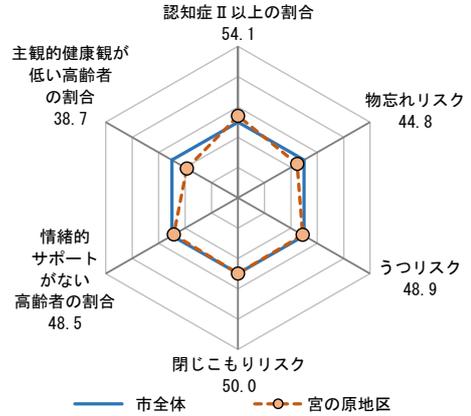
(※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護リスク (小さいほど良い)



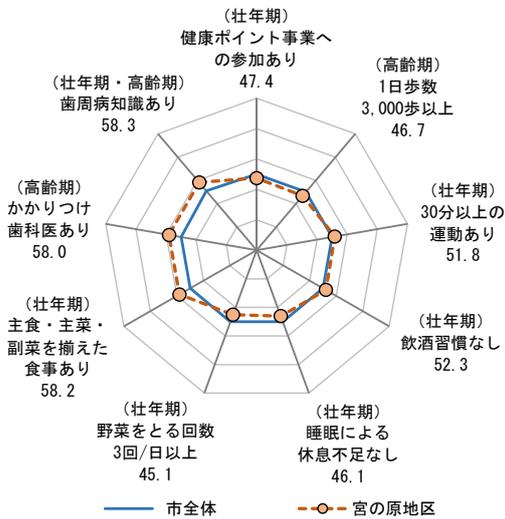
資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)

② 認知症リスク等 (小さいほど良い)



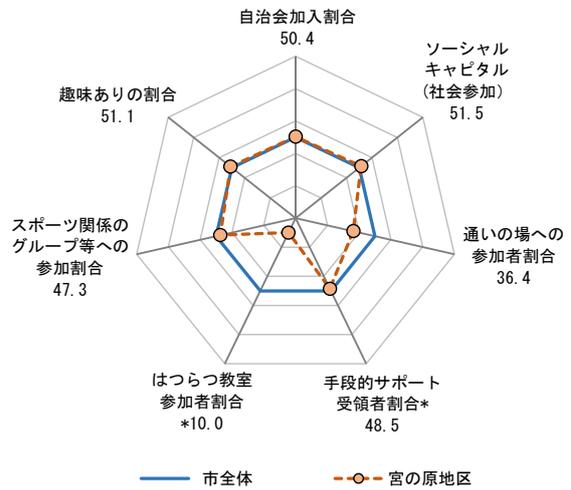
資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)

手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

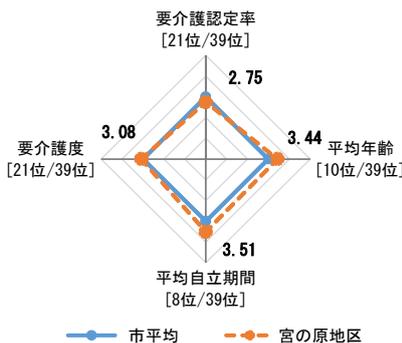
P. 14 参照

① 介護健康度

12.78 点/20 点
[6 位/39 地区]

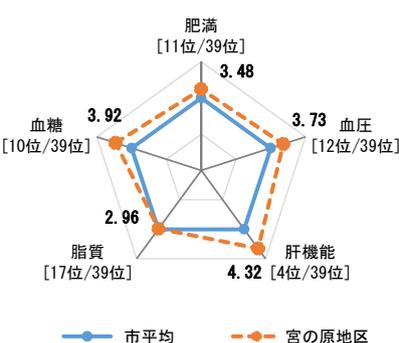


[関連指標]



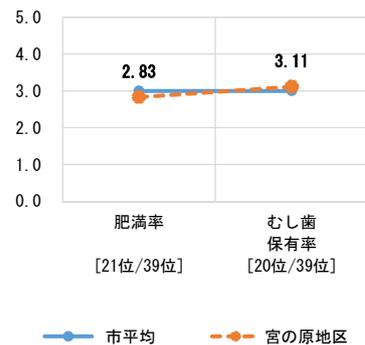
② 生活習慣健康度

18.41 点/25 点
[4 位/39 地区]



③ 子ども健康度

5.94 点/10 点
[24 位/39 地区]



※各関連指標は全市を3点とした場合の値、市平均より健康度が高い：😊 低い：😞

(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べて高い。
- ・ 産業別就業人口構成比は、市全体に比べて「第3次産業」の占める割合が高い。
- ・ 夏まつりや文化祭のほか、体育祭などの行事や、防犯訓練など、地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「特定健診」「がん検診」などすべて低い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血糖・血圧・脂質」はやや高く、「肝機能」はやや低い。
- ・ 行動特性は、市全体に比べて「朝食を抜くことが週3回以上」が高い。
- ・ 1人当たり年間医療費等は、市平均に比べて低く、医療費の内訳をみると、市全体と比べて「筋・骨格」が高く、「慢性腎不全」は低い。
- ・ 要介護認定率は、市全体に比べて高いが、その約7割が要介護2以下となっている。
- ・ 1件当たり介護給付月額、市全体に比べて低く、サービス別介護給付額の割合は、市全体に比べて「居宅」がやや高い。
- ・ 認定者の有病率は、市全体に比べて「アルツハイマー病」「慢性腎不全」「骨粗しょう症」「心不全」「大腿骨骨折」が高い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「運動機能低下リスク」が極めて高く、「低栄養リスク」が高い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて「認知症Ⅱ以上の割合」がやや高い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「健康ポイント事業への参加あり」「1日歩数3,000歩以上」「睡眠による休息不足なし」「野菜をとる回数3回/日以上」がやや低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「はつらつ教室参加者割合」は極めて低く、「通いの場への参加者割合」は特に低い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「平均自立期間」の点数は市平均より高い。
- ・ 生活習慣健康度は、「肝機能」の点数は市平均より特に高く、「血糖」「血圧」が高い。
- ・ 子ども健康度は、「肥満率」「むし歯保有率」の点数は市平均と同等である。

イ 地域の課題

- ・ 宮の原地区において、特定健診等受診率は市全体と比べて「特定健診」「がん検診」すべての受診率が低く、生活習慣リスク保有率は「血糖・血圧・脂質」がやや高い。行動特性は「朝食を抜くことが週3回以上」が高く、生活習慣は「健康ポイント事業への参加あり」「1日歩数3,000歩以上」「睡眠による休息不足なし」「野菜をとる回数3回/日以上」がやや低い。健診受診率の向上を図るとともに、正しい食習慣や運動習慣の定着化を図るため、知識の普及や健康ポイント事業への参加を促すなど、引き続き、生活習慣病予防の取組を行う必要がある。
- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「運動機能低下リスク」「低栄養リスク」が高く、生活習慣は、「1日歩数3,000歩以上」「はつらつ教室参加者割合」「通いの場への参加者割合」が低くなっており、身近な場所への社会参加を通じて、運動習慣や正しい食習慣の定着化を図る取組を強化する必要がある。